

# 煌めく人々たち

## 「おしゃれに楽しく環境活動」

井手尾 真美 さん（有明町赤崎・39歳）



有明町赤崎に住む井手尾さんは、県環境センターから環境教育指導者の委嘱を受けるとともに、同センターのボランティア団体「エコ村伝承館」に所属し、県内各地で竹はしなどのものづくりを通じた環境学習や家庭でできるエコ活動の提案を出前講座で行っている。

環境に関心を持ったきっかけは、ゴミに関する環境問題の講話に感銘を受けて、町のゴミ分別活動に取り組んだことであつた。

皆さんは、買い物をするときに、目的がなく衝動買いを

してしまつた経験はないだろうか。「商品を見て、本当に欲しいものか必要なものか、一度考えてから買い物をしてほしい。そうでないとゴミを買っているのと同じことになる。ゴミ分別と同じくらいゴミを出さないことが大切」と話す。

また、ゴミ問題だけでなく、保育園や小学校で、紫外線から身を守るために「サンハット」の使用を呼びかけ、子どもたちが安全に生活できるように働きかけている。

「環境を守る活動は、ダサい、暗いではなく、おしゃれで楽しくなくてはならない。そうでなければ、やる気が起これないし苦になるだけ」と笑顔がこぼれる。

「皆さんが環境問題に取り組むきっかけづくりをするのが私の役目。こうした活動ができるのは、家族の協力があるからなんです」と語り、指導者としての立場と、家族への感謝の気持ちを忘れない。

「今後は食育を通して元気な人づくりにも取り組みたいです」と新たな決意を語った。

# ハッピーバースデー

今月で1歳になります

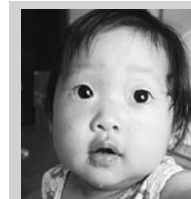


桂田 陽くん

牛深町

父・一彦さん  
母・文香さん

お日さまのように、明るく、温かい人に育ってネ♡



三枝 萌香ちゃん

浜崎町

父・麻夫さん  
母・香代さん

にいに、ねえね、たまには私と遊んでね♡



大山 蒼翔くん

河浦町河浦

父・尚文さん  
母・登志子さん

笑顔がかわいい蒼くん。みんな大好きだよ♡元気に育ってネ!!



村田 若香奈ちゃん

浄南町

父・耕一さん  
母・美枝さん

かわいい笑顔に家族みんながいやされています。



岡田 日我くん

楠浦町

父・和也さん  
母・実季さん

食いしん坊で甘えん坊さん☆ひよ姉ちゃん、早くお外で遊ぼうね♡



林田 亜美ちゃん

今釜新町

父・和太さん  
母・佳美さん

我が家の宝です。元気に大きくなってね!



大塚 朋貴くん

中央新町

父・貴洋さん  
母・貴子さん

ともくんスマイルに家族みんないやされています♡



明瀬 未翠樹ちゃん

瀬戸町

父・実さん  
母・理恵さん

4番目の愛娘です。お兄ちゃんもお姉ちゃんもメロメロです。



岩崎 杏ちゃん

本町下河内

父・昌人さん  
母・雅美さん

2人のお姉ちゃんに負けてません。元気いっぱい3番娘です!!

## 9月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=8月10日(日)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

# 現代に息づく歴史の証

## 「祇園橋」(船ノ尾町)

本渡中央部を流れる町山口川に、ゆるくアーチを描く石橋が架かっています。祇園社の前にあることから「祇園橋」と呼ばれ、古くから多くの人たちに親しまれてきました。この祇園橋は長さ28.6m、幅3.3mで45本の脚で橋げたを支えています。近世以前の現存する石造桁橋としては日本最大級で、眼鏡橋が多い九州では珍しい形式の橋です。石材は下浦石を使い、建造にも下浦の石工が携わっています。架橋年代は天保3年(1832年)といわれていますが、架橋碑には同5年(1834年)の文字と同3年の干支を示す文字が刻まれています。



▲川面に映る橋脚が優美な祇園橋

います。いずれにしても、当時の町山口村の庄屋が発起人となり、銀主や村人など多くの人たちの出資により建造され、度重なる水害や台風にも負けず、170年を超える時を過ごしてきました。架橋技術にも注目点が多く、平成9年にその価値が認められ、架橋碑とともに国の重要文化財に指定されています。

## 地域ぐるり



## 高齢者からの知恵を受け継ぎ 生かしながらの地域活性化

下津浦地区振興会(今福潔会長)

「ハアー浜は夕焼けお山は小やけ下津浦では道べに咲いた彼岸花まで燃えたつばかり」と有明音頭の歌詞にもあるように、地区住民が大切に守り育ててきた距離1kmほどの彼岸花ロードが、下津浦川沿いにあります。現在も、文化交流部会が中心となり地区振興会員で手入れをしています。下津浦地区振興会は、7つの部会で構成され、さまざまな活動を展開しています。

今年度は、産業部会を中心に、つくね芋や食用ほうずきなどの試験栽培を計画していて、つくね芋は先日、種芋の植え付け作業を行いました。年末に同部会が主管する産業祭への出品も予定しており、共同作業の中で高齢者の知恵を受け継ぎながら、高齢者の



▲つくね芋の植え付けを行う地区住民

生きがいがづくりへの一助、そして、地区の特産品になるように発展させていくことができればと思っています。

まだまだ手探り状態での活動ですが、少子高齢化は避けることができない現状です。で、高齢者にパワーをもらって、元気な下津浦地区振興会として継続して活動できるようにがんばっています。